有形固定資産合計	建物	9,603,150,244	422,748,477	27,861,902	9,998,036,819	3,093,536,310	503,964,721	—	6,904,500,509	
	構築物	1,256,307,307	13,757,461	250,663	1,269,814,105	600,455,950	75,473,861	—	669,358,155	
	機械及び装置	9,768,728,961	365,028,028	61,302,795	10,072,454,194	5,408,786,133	464,920,192	—	4,663,668,061	
	車両運搬具	367,807,896	9,403,528	—	377,211,424	207,547,326	32,737,854	—	169,664,098	
	工具器具備品	1,484,403,186	343,541,946	14,699,463	1,813,245,669	1,119,101,506	134,267,706	—	694,144,163	
	土地	20,626,536,310	—	—	20,626,536,310	—	—	—	20,626,536,310	
	建設仮勘定	2,241,005	631,131,149	633,372,154	—	—	—	—	—	
	計	43,109,174,909	1,785,610,589	737,486,977	44,157,298,521	10,429,427,225	1,211,364,334	—	33,727,871,296	
無形固定資産	ソフトウェア	284,198,688	55,444,710	—	339,643,398	233,321,136	31,609,552	—	106,322,262	
	電話加入権	387,000	—	—	387,000	—	—	—	387,000	
	計	284,585,688	55,444,710	—	340,030,398	233,321,136	31,609,552	—	106,709,262	
投資その他の資産	敷金・保証金	—	10,175,488	—	10,175,488	—	—	—	10,175,488	
	預託金	13,260	—	—	13,260	—	—	—	13,260	
	計	13,260	10,175,488	—	10,188,748	—	—	—	10,188,748	

（注１）　建物における当期増加の主な要因は、次のとおりであります。

建物	部材耐震強度実験施設改修	83,320,000円
	盛土実験施設改修	8,846,054円
	寒地土木研究所庁舎改修	117,360,741円
	水利施設の耐寒実験施設	21,060,246円

（注２）　建設仮勘定における当期増加の主な要因は、次のとおりであります。

建物	部材耐震強度実験施設改修	83,320,000円
	盛土実験施設改修	8,846,054円
	寒地土木研究所庁舎改修	117,360,741円
	水利施設の耐寒実験施設	21,060,246円
機械及び装置	大型動的遠心力載荷試験装置改修	40,705,000円
	河川生態実験設備整備	34,629,000円
	三次元大型振動台設備改修	25,147,500円
	構造力学実験施設改修	45,307,500円

２．たな卸資産の明細

（単位：円）

種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
		振替	振替		
未成受託研究支出金	9,450,767	3,478,687	9,450,767	3,478,687	
たな卸資産合計	9,740,767	3,478,687	9,450,767	3,478,687	

３．有価証券の明細

当事業年度は有価証券がないため、記載を省略しております。

４．長期貸付金の明細

当事業年度は長期貸付金がないため、記載を省略しております。

５．長期借入金及び債券の明細

当事業年度は長期借入金及び債券がないため、記載を省略しております。

６．引当金の明細

当事業年度は引当金がないため、記載を省略しております。

７．法令に基づく引当金等の明細

当事業年度は法令に基づく引当金等がないため、記載を省略しております。

８．保証債務の明細

当事業年度は保証債務がないため、記載を省略しております。